総合的な学習の時間
「福祉体験学習：手話(要約筆記)ゼミ」

相模原市立鵜野森中学校

単元（題材）目標

○課題解決学習の基礎基本として「見通しを持つ力」「振り返る力」「まとめる力」「発表する力」の実践力を育む。

○身体にハンデがある方々の体験談を伺い、実際に体験学習をすることにより他者との共存を図っていく能力や他者を思いやる心、そして感謝する心を育み、福祉への見方・考え方を深める。

（１）実施時期

体験当日：令和元年６月 26 日(水)

＊平成 31 年４月 17 日～19 日（事前学習）令和元年７月３日～10 月 21 日(事後学習)

（２）対象（学年等・人数）

第１学年 145 名のうち 30 名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第１学年所属１名

外部講師：社会福祉協議会より派遣　手話講師２名、要約筆記講師４名

（４）実施内容と成果の発表

○事前学習

・事前学習をはがき新聞にまとめ、お礼状の裏面に添付し外部講師の方にお渡しする

○体験当日

①講話「聴覚障害者の理解」

・見た目で分からないハンデの困り感、理解してほしいこと

・コミュニケーションをとる方法･･･手話以外にも方法は色々ある

→⑴空書　⑵口語　⑶指さし　⑷身ぶり　⑸身ぶり＋口語　⑹筆談

②手話体験「基本的な練習」

・手話する側→「わかる」「わからない」「もう一度お願いいたします」「そう」「違う」等

・受ける側→手話で反応する、拍手は相手を称えているとは分からない等の諸注意

③要約筆記体験(略)

○事後学習

①ポスター(補助資料)作成、学級と学年選抜においてプレゼン共有

②ゼミごとに掲示

（６）その他

○相模原市立相模大野図書館と連携し、さらに国語科・美術科とも教科を横断したカリキュラム・マネジメントを意識した活動を実践した。

○三者面談時に保護者に事前・事後学習の掲示発表をした。